



寒川町 にぎわい交流創出ゾーン ビジョン（案）

企画部企画政策課



将来見通しに係る注意事項

- ✓ 本資料に記載されている将来に関する見通しは、公表時点での入手可能な情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。記載された見通しと大きく異なると見込まれた場合には、その都度、軌道修正する可能性があります。
- ✓ 実際の影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済及び安全保障情勢、社会インフラや生活スタイルの変化、生活基盤に大きく影響を与えるサービスの登場等、現在想定しえない変化が含まれます。

他計画等の関係

- ✓ 本資料作成時点で、寒川町における他の計画については、そのすべてを尊重し、整合性を保っています。計画の修正等により、本資料に影響がある場合は、速やかに、本資料も修正を行います。

本説明資料における表示方法

- ✓ 数値：単位未満四捨五入
- ✓ 比率：単位で計算後、表示単位の一桁以下を四捨五入
- ✓ 年度：断りがない限り、4月～翌3月の事業年度を示す

1 . 目指す姿

ありたい様子、エリアの図（イメージ）、ビジョンの目的と他計画の関係

2 . 描く エリアの様子

ビジョンを実現するためにミッションを達成する、
描くエリア（県道東側：公共施設集積エリア）のイメージ

3 . ビジョンの活用

ゾーンのビジョン関連像、ビジョン／ミッション／バリュー／コンセプトの関係、
ビジョンの活用（個別案件）

（参考） 策定資料・過程

前提①「つながる力で 新化するまち」、前提②『「高座」のころ。』、作成過程①町全体の分析、
作成過程②ゾーンの分析、ゾーンのビジョン作成における作業対策会議・新設を検討する施設との関係、
町民・関係機関アンケート・ヒアリング調査

1 .目指す姿

多様な人がゆるやかにつながる
きっかけと過ごしたくなる場

多様な人がゆるやかにつながる きっかけと過ごしたくなる場

多様な人が

このゾーンには、特定の人だけでなく、誰もが集まり利用できる場とします。

ゆるやかにつながる

ゆるやかで多様なつながりは、
こころ豊かな暮らしをもたらします。

きっかけと

一人ひとりの想いや可能性に寄り
添った機会を作り出します。

過ごしたくなる場

「自分の居場所」「みんなの居場所」と
思える安心できるエリアを目指します。

エリアの図 (イメージ)



ビジョンの目的と他計画の関係

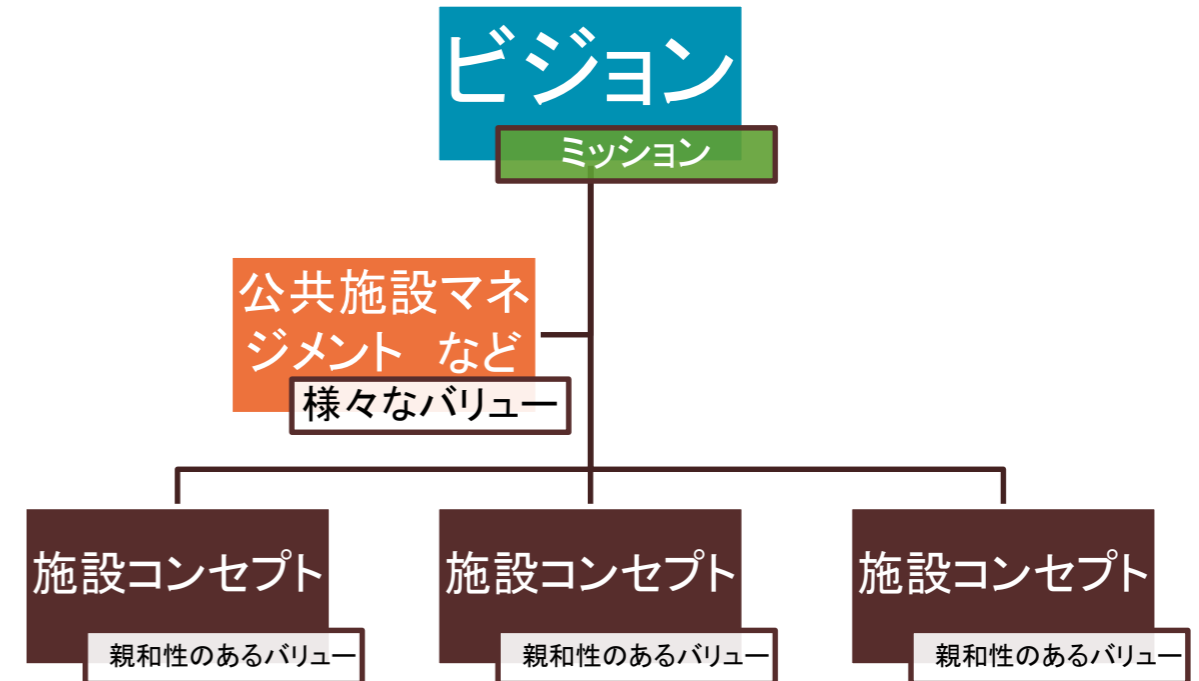
にぎわい交流創出ゾーンにおける、ハード・ソフト整備においては、「多様な人がゆるやかにつながる きっかけと過ごしたくなる場」というエリアビジョンのもと、統一感を持った整備が大前提となる。

特に公共施設が多く集積する県道より東側においては、積極的にビジョン・ミッションの達成を目指す。

また、既存・新施設等を問わず、エリア内への投資の際は、親和性の高いバリューを設定し、施設コンセプトを掲げることで、効果的にエリアのミッション及びビジョンの達成を目指す。

公共施設等総合管理計画などで計画されている施設やサービスにおいても、ビジョン・ミッションの達成を前提に、適切なバリュー設定のうえ、施設・サービスコンセプトに基づき、新設・改修・改善を図る。

ビジョン	:	ありたい姿
ミッション	:	使命
コンセプト	:	実行原理
バリュー	:	価値基準



2 .描く エリアの様子

ビジョン

多様な人がゆるやかにつながる
きっかけと過ごしたくなる場

にぎわい交流ゾーンにおいて目指すありたい姿。

「つながる力で 新化するまち」の実現。
パブリックスペースに積極的にパーソナルスペースを用意する。



ミッションの達成により
ビジョンを実現する。

ミッション

つながる機会

つながりたい時に、つながれる場／機会。

人、地域、団体、企業、公共など多様なつながりの機会。
新たな取り組みをしたい時に、仲間を募ることができる。

多様性

属性に縛られないコミュニケーションができる場／機会。

同じ属性だけでない他者と関わることができる。
一方通行でない、相互にメリットのある関わりができる。

自分らしく生きる

自己実現の場／機会。

自分がやりたいことに集中して取り組むことができる。
新しいことにチャレンジできる。

ゾーン内においては、
ハード・ソフト両面
によりミッションの
達成を目指す。

出 会 い

カフェや公園、水辺の遊び場、顔見知りや仲間が集う店などのお気に入りの居場所を持てるようにします。

いつもの居場所、顔見知り、仲間が複数持てることは暮らしの中で安心を感じられます。

お気に入りの居場所

何気ない日々の暮らしの中で出会いのきっかけをつくります。ゆるやかで多様なつながりは、感謝・安心・愛情・親切などの感情が連鎖し、こころ豊かな暮らしをもたらします。

チャレンジしたくなる

挑戦したい人の活動を受け入れることができる場所を作ります。多様なつながりは、挑戦する気持ちを抱きやすくなります。また、誰もが活用できる施設があることで挑戦が生まれます。



3 .ビジョンの活用

ゾーン全体

ビジョン

多様な人がゆるやかにつながる
きっかけと過ごしたくなる場

ビジョン	: ありたい姿
ミッション	: 使命
コンセプト	: 実行原理
バリュー	: 価値基準
アイデンティティ	: 自己規定

ミッション

- つながる機会
- 多様性
- 自分らしく生きる

バリュー



各公共施設にコンセプト

アイデンティティ ≡ ブランド『「高座」のころ。』

「穏やかさ、優しさ、あたたかさ」を感じてもらう = 「安心」を感じてもらうための気配りや気遣いなど

- 公共施設 マネジメント
- 既存施設 保全・改修
- 新規施設 コンセプト

ビジョン — 町総合計画2040 より言語化

ミッション — 町総合計画2040策定過程資料（意見）
+ マーケティング分析 より

「つながる力で 新化するまち」を達成するために基本的に追加・修正しない



(ゾーン全体の)
バリュー — ビジョン/ミッション より設定
ゾーン内の全施設などで相互補完し、
ビジョン、ミッションを達成する

時代や社会の変化に応じて随時追加・修正する



(施設の)
バリュー — ※親和性の高くないバリューも、なるべく内包するよう意識する。
ゾーン全体のバリューから、施設の機能等と
親和性が高いものをチョイス

施設コンセプト = 施設機能 + チョイスしたバリュー

従来の単一機能だけでなく、ビジョン/ミッションを達成するためのバリューを施設コンセプトに含めることで、ゾーン全体の価値を高める

各施設
(新設・改修)

ビジョンの活用（個別案件）

